

平成26年度予算執行に向け、重点政策は 新クリーンセンターの建設実現

企画財政課長
1、限られた歳入予算を計上する中、義務的経費のほか、都市再生整備計画事業等普通建設事業や福祉費、教育費とバランスをとり、最小の経費で最大の効果が上げられるよう予算編成に努めた。
2、新規事業は、4事業を

問 平成26年度予算は、町長にとって任期最後の総仕上げ予算である。次の点について問う。
1、平成26年度予算の骨子は、
2、新規事業は何事業あるか。また、その狙い目と期待効果は
3、継続事業の中で、課題となっている事業の本予算での到達点は
4、町長は予算執行に向けて何を重点施策として具体的に進めて行くのか



五味 高明 議員

予定し、役場庁舎整備事業、大林児童館再構築事業、都市再生整備計画事業（道路改良事業と龍神の杜公園遊歩道整備）南小学校の大規模改造事業である。
いずれの事業も、住民の皆さんの安全安心、環境改善、利便性の向上につながると考えている。
3、ストックヤード事業は、国の主導事業の為、町は要請があれば協力するというスタンスである。

町長
4、今年度重点政策は、役場庁舎の整備・大林児童館の整備・クラインガルテン事業・防災対策マニュアルの作成、そして将来に向けて、安定したごみ処理の新クリーンセンターの建設実現である。



新クリーンセンター建設予定地

税金と使用料金の徴収は

納税義務周知と徴収努力で



茂木 勲 議員

問 町が徴収する各種税金と使用料金の収納状況と、未収納となった処理はどのように行っているのか問う。
1、徴収方法は
2、未納金の処理は
3、時効の年数と後処理は

税務課長
1、現況で税金全般の徴収納税方法は、指定機関の納付書による現金納付と口座振替の二つの方法である。町では安全確実な振替を推奨している。経費面でもメリットがあり、47%の利用率となっている。
利便上コンビニ収納も検討したが1件60円の手数料と高額のため現在は実行しない。
2、未納者に対して、督促催告の文書により納付を促し、電話催告と訪問徴収も合わせて行っている。
納税相談の環境づくりと、



大口滞納者の一部は、県と合同徴収を実行している。
3、未納金については、納付期限後20日以内に督促状や催告書を送付し、納付相談等を行ったにもかかわらず不履行が生じた場合、差し押さえなど積極的滞納処分を行っている。25年度末で235件と過去最高となった。後処理は、「不納欠損」となり、24年度決算の一般会計で4千4万円、国保で2千265万円である。
また、時効は法律上5年であるが中断が可能で、そうした事務努力も継続する。納税義務が果たされないことによる重大さを理解頂きたい。

記録的大雪から何を学ぶか

災害対応の見直しと改善に努めたい



井田 理恵 議員

問 1、業務上においてその進行の中で捉えた課題と、問題事項はなにか
2、自助、共助、公助について、次の世代と今後に向けたその役割について検証の場を
3、防災、減災上の観点から迅速な情報伝達と適正な意志決定が求められる。国県との連携力強化に向けた方策は

総務課長
大雪予想を当初より立て災害対策本部を立ち上げた。地域防災計画に基づいた早期の職員参集に務め、初日は徒歩登庁などにより4分の3の職員での対応となった。
役割分担等も含め全般に関して対応のあり方が課題となった。
それをふまえた新マニュアルの作成を考え、今後の災害対応に努めたい。



町長
建設業者のみなさんには不眠不休に近い働きをしてもらい重機の機能負担も重かった。町民の自助・公助については地域の力をつける為に隣近所の情報共有の大事さを実感した。助け合いが地域力を強くし今後のまちづくりに繋がる。
教育長
大雪による共同除雪作業は、子ども達にとり学びの場であった。家族の一員としての役割実感、絆から他への奉仕の達成感や評価される喜びなどがあつたと考える。

陳情審議結果

陳情	陳情者	審議結果
国土交通省告示第15号の履行に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平	趣旨採択
最低制限価格設定に関する陳情	長野県建築士事務所協会佐久支部 支部長 土屋 長命	

元町議会議員として、地方自治の発展に多大な貢献をされた功績により、満88歳を迎え、平成26年4月1日付けで、旭日章を受章された。
堀籠氏は、昭和40年9月に町議会議員に当選し、昭和51年9月までの3期11年在職された。この間、議長、副議長を務め、また昭和61年から3年7カ月の間、町助役を務めるなど多大な貢献をされ、町の発展に寄与された。



高齢者勲章
元町議会議員
堀籠達雄氏 (88歳)